

会 期 平成27年12月1日（火）午前10時～12月13日（日）午後4時

会 場 釧路市立美術館 ギャラリーA

会場には巡回作品に釧路からの出品作24点（巡回作品1点を含む）を加えた98点を展示。開催期間を2週間に延長したことに加え、釧路市の清水千賀子さんが油彩部門の新会友に推挙されたことも話題となり、例年以上の1,415名の入場者があった。市民のみなさんは札幌での道展終了後すぐに釧路で作品に触れることのできる移動展を楽しみにして下さっている。特に最終日に行われる作品講評会には例年たくさんの来場者があり、今回の講師である手塚昌広油彩画会員、浜口秀樹工芸会員による作品講評会には訪れた方々に楽しい時間を提供することができた。

道展が90周年を迎える同年、釧路移動展も60年を迎えるこの周年事業として、市民を対象にワークショップ、特別座談会、物故作家展、お茶会、ギャラリートークを企画したワークショップには、両日、一般市民から定員一杯の申し込みがあり、道展作家や実行委員との交流を楽しんだ。特別座談会では、釧路在住の道展会員や美術関係者が道展と釧路移動展の歴史を貴重なエピソードとともに楽しく振り返った。また、お茶会と称して来展者にお茶と和菓子のおもてなしも行った。ギャラリートークでは地元作家が自分の作品について解説を行い、多くの来展者が作品制作に対する作家の思いに聞き入った。



釧路からの出品作24点（巡回作品1点を含む）を加えた98点を展示。



物故作家展として釧路市所蔵の西塚栄氏、小山田武氏、木下勘二氏の作品を展示



全体講評して頂いた 手塚昌広氏（油彩画会員）、浜口秀樹氏（工芸会員）《視聴者数：約50名》

①ワークショップ「手作り機(はた)でつくる裂き織りコースター」

日 時：12月5日（土）、12日（土）午前10時～12時00分

講 師：渡邊久美子 氏（北海道テキスタイル協会会員：道展一般会員）

参加者：12月5日（土）：17名、12日（土）：22名 計39名



②周年記念特別企画「特別座談会」～道展釧路移動展60年”黎明期”から”新たな岐路”へ～

日 時：12月12日（土）午前13時～14時30分

パネラー：羽生 輝（日本画会員）、高橋康夫（油彩画会員）、吾孫子雄子（油彩画会員）、
島田勝利（一般会員）、瀬戸 厚志（釧路市立美術館学芸員）

コーディネーター：上野秀実（日本画会員）

《視聴者数：約60名》



③お茶会（お茶接待）12月8日（火）、13日（日） 2回実施



④ギャラリートーク：地元作家による作品解説《視聴者数：約50名》

日時：12月6日（日）、午前10時～12時00分

